

## 2017年にストランディングした海棲哺乳類について

南知多ビーチランドが、2017年1月から12月まで取り扱った海棲哺乳類は、合計36例で、すべてスナメリの死亡漂着でした（写真1）。

漂着場所は、伊勢湾27例、三河湾9例でした（図1）。性別はオス19例、メス11例、性別不明が6例でした。月別では、5月に8例、6月に4例と多く見られました（図2）。スナメリの体長は、70cm（性別不明）から、190cm（オス）までありました。体長100cm未満の新生仔スナメリは6例で、5月から6月の期間に見られ、同期間の全死亡漂着例の50%を占めていました。

漂着したスナメリからは様々な情報が得られます。体の大きさから成獣か幼獣かがわかります。また、性別もわかります（腐敗が著しい場合は性別不明の場合もあります。）

さらに解剖して胃内容物を調べてみると何を摂餌していたかがわかります。10月24日に常滑市のりんくうビーチに死亡漂着したスナメリ（オス）の胃内容物を調べたところ、サカナの未消化物を確認することができました（写真2）。このことから、死亡する直前までサカナを摂餌していたことがわかりました。残念ながらサカナの種類は同定できませんでした。過去には、タコの仲間や、シャコ、イカの嘴も確認したこともあります。その他、漂着個体が新鮮な場合は、寄生虫の有無や臓器の状態など解剖することによって、さらにさまざまな情報も得ることができます。

今後、海岸などで海棲哺乳類を発見した際には、ご連絡ください。（大池 辰也）

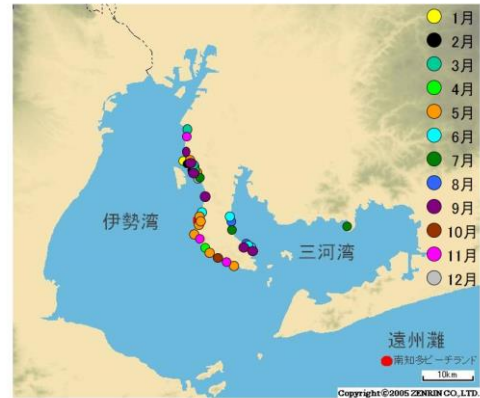


図1 漂着場所

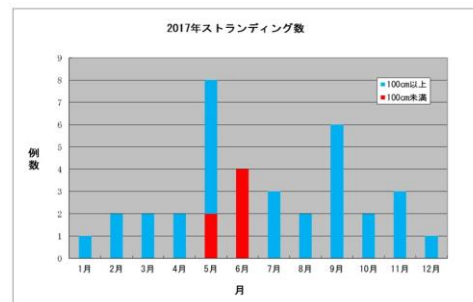


図2 月別例数

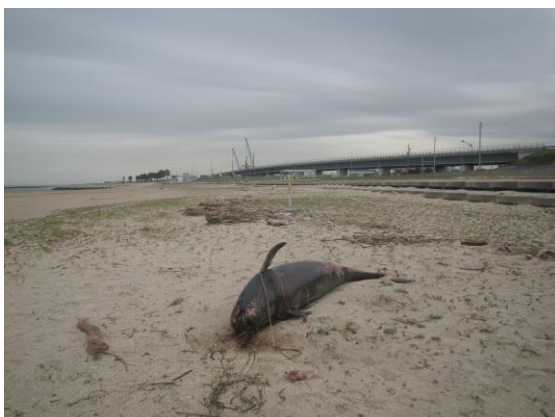


写真1 常滑市りんくうビーチに死亡漂着したスナメリ



写真2 胃内容物